

令和3年度第1回 北杜市立病院改革プラン策定委員会 会議録

1. 会議名 令和3年度第1回北杜市立病院改革プラン策定委員会
2. 開催日時 令和3年10月27日(水)
午後4時開会～午後5時20分閉会
3. 開催場所 北杜市役所 大会議室
4. 出席者(敬称略)
出席委員 小澤建二、利根川昇、草野香壽恵、吉田和徳、原真樹子
欠席委員 入江薫、小川昭二、浅川正人
事務局 健幸市民部：八巻弥生(健幸市民部長)
健康増進課：浅川知海(課長)、城戸潤子(市立病院担当リーダー)、
堀内洋樹(市立病院担当)
塩川病院：秋山貴(事務長)、福田博樹(総務課長)、
窪田要一(会計担当リーダー)
甲陽病院：中瀬一(院長)、織田光一(管理局長)、安達朋之(事務長)、
中田よりえ(総務課長)
5. 議題 (1) 第3次北杜市立病院改革プラン 令和2年度分点検・評価について
・塩川病院
・甲陽病院
(2) 第3次北杜市立病院改革プラン 行動計画の点検・評価について
・市及び2病院全体の取り組み
・塩川病院の取り組み
・甲陽病院の取り組み
(3) 北杜市立甲陽病院経営改善計画について
(4) その他
6. 公開・非公開の別
公開
7. 傍聴人の数
なし
8. 議事

事務局：【資料1、資料2、資料3に基づき説明】

委員：患者の送迎体制について。日頃から感じていることであるが、病院の利用については自家用車、バスなどの公共交通を利用する方もいる。免許返納など、公共交通の充実は大切である。例えば、西線という市営バスがあるが、日野春から長坂を往復しているものだが、塩川病院、甲陽病院へ行くには乗り換えが必要となっている。延伸という方法で、長坂駅から甲陽病院、日野春駅から塩川病院へということになれば便利かと思う。路線バスの延伸ルート、病院に行けるルートを考案していただくと市民は助かるのではないかと。

事務局：公共交通については所管が企画課ではあるが、こういった御意見があるということをご提案していきたい。

事務局：(塩川病院)

清里、津金、江草、明野に病院バスを出している。利用についてはかなり減っているのが現状。公共バスと協議をし、病院への乗り入れを増やしてもらうなど対応している。

武川方面の乗り入れについても検討していきたい。

事務局：(甲陽病院)

病院バスは1日3ルート運行している。武川、白州方面には行っていないが、今後、公共交通のアクセスなど企画課と連携して検討を進めていきたい。

委員：コロナ禍で病院は大変だったと思う。地域に病院があることで安心材料であった。コストがかかっても維持していかなければならないと、コロナ禍で改めて思いました。

市に2つの病院があることは社会的共通資本であると思っている。大事に、残して欲しいと思った。甲陽病院には感染症病床が4床あるが、コロナ禍では病床を広げたのか。

事務局：(甲陽病院)

一般病棟は3階と4階とあり、約40床ずつ、満床としての届出は60床となっている。そのうち4階病棟をすべて感染症として使用した。今までで300人を超えている。先々月の第5波では1日最大29人、延べで言うと1100名、1人あたり10日から2週間の入院、そのような運営をしていました。そのような中、もう一つ病棟への受入は制限せざるを得ないことはありました。平時であれば、60名であるが、有事下では通常の患者を30名受け入れるのは難しかった。そのような中、塩川病院とは相談をし、甲陽病院の動きが悪い時は塩川病院での救急を受け入れていただくなど、市民を守れたのではないかと。市内に2つの病院があるのは稀なケースではあるが、この2年間の有事下においては、2病院があることで、医療崩壊が起きなかったのではないかと考えている。

委員：特徴のあるものを残していかなければならない。気になったのは、人工透析内科というものが両病院にあり、資料の中の問題点として、さきほどの説明ではうまくいっているようだが、臨時透析がうまくいかず、Cの評価となっている。患者数は多いのでしょうか？

事務局：(甲陽病院)

透析には専用の機器が必要であり、現在12ベッド、1人半日かかりますので、1ベッドあたり1日2回が最大の受入となります。週分けでは、月・水・金、火・木・土に、1日2回ですので、最大で4サイクルとなります。しかし、職員の数や、透析の患者は急変することもあり、院内の診療体制が整っている状態で透析患者を受け入れなければならないことから、土曜日の午後は受け入れを行っていません。よって、火・木・土の午後は受け

入れを行っていないことから、3サイクルで対応しています。なお、平時の時の臨時透析は、季節の観光客、また、透析の翌日など容態が悪くなった人のため、1～2ベッドを空けて対応していました。なお、観光客については、コロナ禍ではコロナを持ち込むのではという懸念から対応できなかった。

委員：30年前から特徴のない病院が2つあるということに対して批判があったことを記憶している。

今回の新型コロナウイルス感染症という特殊な状況下で、塩川病院、甲陽病院が十分機能していただき、市民も市内の診療所も助けられた。この場を借りて、両病院に感謝の意を表したい。今後は北巨摩医師会の16診療所が市民および両病院の力となるよう頑張らなければならない。第6波が来ればさらに多忙となる。両病院とも頑張っていたきたい。

事務局：(塩川病院)

ワクチン接種が始まった頃は、初めての対応ということで行政、病院も苦しい状況だった。その中で、北巨摩医師会の会長には御尽力をいただき、集団接種、個別接種と御協力いただいた。病院としてもできる限りワクチン接種等を実施したが、北巨摩医師会の対応に感謝申し上げます。

会長：他に質問がありますか。なければ議案3に移ります。

事務局：(甲陽病院)【資料4に基づき説明】

委員：患者満足度調査について、私事ではあるが、急遽、予約なしで病院を受診することがあった。非常に混雑していたが、1時間くらいかかるかもしれないなど、どれくらい待てばよいのか状況もわかり、落ち着いて待っていることができた。また、1カ月後を予約したが、急用により、変更が生じたが、その際も丁寧に対応していただいた。新型コロナウイルス感染症の中で頑張っていたいただいていると思う。

住宅や院内保育所など、そういった医療スタッフが安心して働ける環境を更に充実していただき、医師確保など務めることでより良い北杜市になるのではないかと思います。

委員：甲陽、塩川病院にも通院をしていないが、人づてでの情報となっている。知り合いがお世話になり、対応に非常に喜んでいた。

委員：資料を見ると、コロナ禍の多忙の中でありながら、研修を実施していたことにびっくりした。常に最新の情報を得るという思いからだと思う。

会長：これまでの会議では、院長が委員となっていたことなど、進行に疑問を持つこともあったが、本日は院長をはじめとする事務局が、非常にわかりやすい説明をいただいたと感じている。

会長：他に質問がありますか。なければ最後の議題「その他」へ移ります。

事務局：先週の新聞の紙面にもございましたが、マイナンバーカードに保険証としての機能を持たせる制度が10月20日から始まっております。北杜市の市立2病院でご利用いただけますので、御周知させていただきます。また、お手元には総務省のHPに掲載の利用可能な山梨県内の病院、診療所、薬局の一覧表となっております。また、使用可能な病院、診療所や薬局には、オレンジ色のステッカーやポスターが掲示されております。ご利用には、事前にマイナポータルから健康保険証利用の「初回登録」が必要です。本庁のロビーの一角にも登録可能なパソコンが設置してございますし、市立2病院などの顔認証付きカード

リーダーを設置する医療機関や薬局の窓口でも初回登録が可能ですので是非ご利用ください。

議長：説明が終わりました御意見ありませんか。無ければ終了とします。

4 閉会

令和 年 月 日

会議録署名人 _____ 印

会議録署名人 _____ 印